

開催趣旨

平成20年の急激な輸入飼料価格高騰は、わが国の畜産経営を直撃した。昨今、この厳しい情勢は緩和されたかに見えるものの飼料価格は従前に比べて高値で推移し、量の確保は依然不安定な状況にあるといえる。このような状況の中、畜産経営の安定化を図るための支援組織としてTMRセンターが注目を集めている。特に自給飼料と食品産業から排出されるエコフィードを高度に活用したTMRセンターは、零細で分散した飼料生産基盤の脆弱な地域において、画期的な飼料供給体制として畜産農家からの期待が高まっている。

そこで、わが国の飼料畑で生産されるイアコーンのような新しい自給飼料やエコフィード等飼料資源の特性を把握し、その利用推進を目指すとともに、TMRセンターのさらなる展開に向けて、全国のTMRセンター間の連携と、行政・研究・関連団体等を含めた支援体制の強化を図ることを目的に本情報交換会を実施する。

主 催

独立行政法人 農業・食品産業技術総合研究機構 畜産草地研究所
全国酪農業協同組合連合会

日 時

平成22年12月13日（月） 13：00～16：20

平成22年12月14日（火） 9：00～12：00

場 所

科学技術館サイエンスホール（東京都千代田区北の丸公園2番1号）

参集範囲

農林水産省、独立行政法人、都道府県、大学、団体、民間等の関係者